

お好み焼きプレゼント 室蘭言泉学園に「おらが村」

室蘭市輪西町のお好み焼き店「おらが村」(堀井年隆村長)は5日、社会福祉法人室蘭言泉学園(室蘭市母恋南町)に、同店特製のお好み焼きを差し入れた。同店は毎年、「こどもの日」に合わせて、同学園や同法人が運営する児童養護施設「わかすぎ学園」の子どもたちを招き、お好み焼きを「こちぞう」している。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、大型連休中は店舗を休業しているため、テークアウトにすることにした。

感染防止でテークアウト

この日は同学園の職員が同店にお好み焼きを受け取りに訪問。堀井村長は「今年は来られなくて残念だが、施設で食べてください」とケースにぎっしり詰まった店自慢の広島風お好み焼き約80人分を手渡した。同学園の職員は「みんな毎年楽しみにしていて、今年も『そろそろだね』と話していました。ありがとうございます」と後日、子どもたちからのメッセージを郵送することを伝えた。

(菅原啓)



室蘭言泉学園にお好み焼きをプレゼントしたおらが村の堀井村長